

お あ い	月刊	平成24年 12月
	発行	3月号
あーい 編集委員会		
品川区西大井 4-1-8		
大井第三地域センター内		
☎ 3773-2000		

## 第12回品川区中学生の主張大会

12月3日(土)に「品川区中学生の主張大会」がきゅりあん小ホールで開催されました。午前中に降っていた雨も開会時間にはあがり、主張大会に参加した15名の中学生を応援するかのようでした。

富士見台中学校からは代表として、7年生の川村さくらさんが出場し、見事第2位に当たる優秀賞に輝きました。

川村さんの演題は『差別の気持ち、ありませんか』「シンジョウという言葉を使って人をばかにすることは、言われた人も、それを聞いている人も気持ちが悪いものです。」と、さわやかに、熱く、語りました。講評では、「自分の体験から素直な気持ちで語り大変好感が持てる」と絶賛していただきました。富士見祭の時には読んでいた原稿をすっかり頭の中に収めるまで練習して臨んだ本番では、代表生徒の中で唯一の7年生とは思えないほど堂々としており、立派でした。川村さん本人も「緊張しました!」と言いつつ、やりとげた充実感にあふれた笑顔を見せていました。今後の成長が楽しみです。

(富士見台中学校主任教諭 宮本 記)

伊藤学園からは9年生の浅井隆さんが出場しました。浅井さんは『備えよ常に』というタイトルで主張を行いました。これは浅井さんが参加しているボーイスカウトのモットーです。東日本大震災の経験を通して、人のために行動する準備と日々の心構えについて語りました。

浅井さんの落ち着いた話しぶりと、繰り返される「備えよ常に」という言葉が印象的な主張となりました。応援にかけつけた伊藤学園の生徒会役員3名は、9年生の堂々とした主張に真剣に聞き入っていました。審査員の先生は、多くの主張者が東日本大震災を通して様々なことを感じ、学んでいること、そしてそれを主張に取り入れたことを高く評価されていました。

(伊藤学園教諭 渡邊 記)



## 三校合同ミニコンサートが開催されました!!

12月22日(木)、富士見台中体育館で伊藤小学校、上神明小学校、富士見台中学校の三校合同バンドによるミニコンサートが行われました。夏休みから一緒に練習を重ねました。練習していく上では中学生が中心となりチューニング(音あわせ)や、わからないところを教えたりと和やかな雰囲気の中で、どの児童生徒も上達しました。そして当日、自信を持って「かえるの歌」「喜びの歌」を75名全員で演奏することができました。



(富士見台学校教諭 深野 記)

## オール伊藤野球クラブ・富士見台中学クラブ町内清掃



12月25日(日)、オール伊藤野球クラブ・富士見台中学クラブ合同で西大井五・六丁目町内清掃が行われました。もともと、日頃お世話になっている近隣町会への感謝と子どもたちが町内をきれいにする(汚さない)気持ちを養うため、平成15年頃から始まりましたが、平成20年から恒例行事として毎年実施しております。今回は大会が重なり、参加出来ない学年もありましたが、育成者・中学生・小学6年生と2年生以下、保護者の約30名で45 ゴミ袋3袋分のゴミを拾いました。

今回、一番目についたのは、タバコの吸殻でした。清掃を始めた当初はゴミ袋6~7袋分のゴミがありましたが、年々減少し、町内の方々が常に美化に努めているのが感じられました。環境の美化だけでなく、気を引き締め、心新たに野球に励んでいきたいと思えます。

(オール伊藤野球クラブ代表 柴野 記)

